

「東京大会に向けたセキュリティ基本戦略」の一部改定について

1 セキュリティ基本戦略について

基本的な考え方、総合的な態勢、主な対策等を取りまとめた「セキュリティ基本戦略」を平成29年3月にセキュリティ幹事会で決定
[H29. 4. 4 オリパラ推進本部報告、R1. 7. 30 一部改定(サイバー攻撃対策の強化、実践的訓練の実施等を追記)]

2 基本戦略の概要

- 基本的な考え方:「大会の安全・円滑な準備及び運営、継続性の確保」、「緊急事態への的確な対処」
- 総合的な態勢を確立し、情報収集・分析を強化するとともに、以下の対策を推進（関係省庁が連携し、対策を推進中）
 - ① 競技会場等の安全の確保
 - ② アスリート、観客等の安全安心の確保
 - ③ 重要サービスの継続性確保
 - ④ 水際対策の強化
 - ⑤ 重要施設、ソフトターゲット等の警戒警備等の強化
 - ⑥ テロリストに武器等を入手させないための取組の強化
 - ⑦ サイバーセキュリティ対策の強化
 - ⑧ 国際連携の強化
 - ⑨ 自然災害への対応
 - ⑩ 緊急事態対処能力の強化

3 改定のポイント

- 新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案し、東京大会の開催が2021年に延期
 - 大会のセキュリティの万全の確保のため、以下の対応が必要
 - ・ **セキュリティ対策における新型コロナウイルス感染症への対応の徹底**
 - ・ **大会延期に伴う情勢変化を的確に捉えた対応**
- 下記赤字内容を追記し、関係機関における**大会のセキュリティ対策の一層の推進を図る**

「情勢認識」
部分

- ・ **新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案し、東京大会の開催が2021年に延期**
- ・ **新型コロナウイルス感染症への対応を徹底しつつ、セキュリティ対策に万全を期す必要**

「基本的な
考え方」部分

- (1) 大会の安全・円滑な準備及び運営、継続性の確保
- (2) テロ等の未然防止とサイバー攻撃によるものも含めた緊急事態への的確な対処
- (3) **新型コロナウイルス感染症への対応の徹底、大会延期に伴う各種情勢変化の的確な把握と対応**